

大阪市教育振興基本計画の中間評価

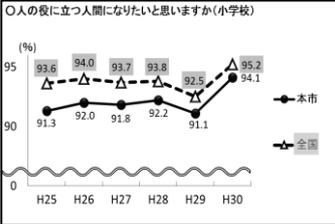
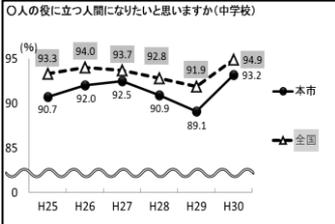
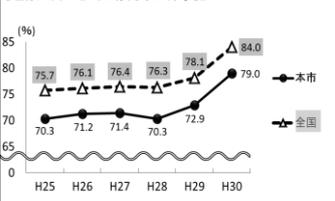
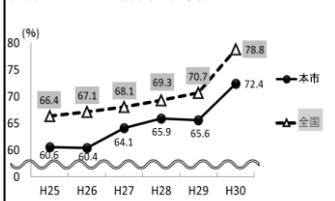
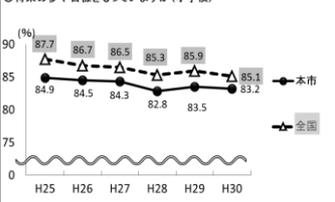
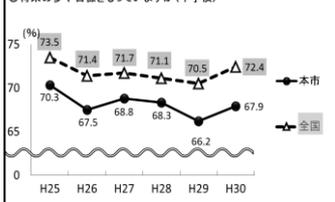
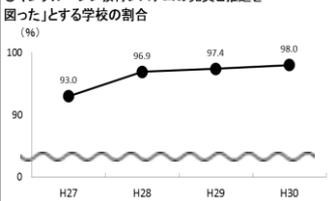
令和2年度までの4年間を施行期間とした大阪市教育振興基本計画の中間期にあたり、計画に掲げられている2つの最重要目標の達成に向け、重点的に取り組むべき施策として設けられた8つの分類をもとに、各施策の成果指標（目標）の進捗状況及び取組状況について検証（中間評価）を行った。

施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現

目標	進捗状況	
不登校の割合を令和2年度末に小学校0.4%、中学校3.7%（在籍比率）にする		
いじめの解消率を令和2年度末に小学校95%、中学校95%にする		
「学校のきまり・規則を守っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合を令和2年度末に小学校91.0%、中学校94.0%にする		

暴力行為の件数や認知したいじめが解消した割合などに改善が見られ、取組の成果が見られるものの、不登校の状態にある児童生徒の在籍比率については期待される成果が見られていない状況である。いじめ・不登校等への対応については、様々な悩みを幅広く受けとめる相談体制の構築に向け、SNSを活用した相談体制の整備を進め、問題の深刻化を防ぐとともに未然防止を図っていく。また、義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律等を踏まえ、不登校児童生徒の教育機会の確保に向けた取組を検討していく。

施策2 道徳心・社会性の育成

目標	進捗状況	
<p>「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合を令和2年度末に小学校 93.0%、中学校 92.0%にする</p>	<p>○人の役に立つ人間になりたいと思いますか(小学校)</p> 	<p>○人の役に立つ人間になりたいと思いますか(中学校)</p> 
<p>「自分には良いところがありますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合を令和2年度末に小学校 75.0%、中学校 70.0%にする</p>	<p>○自分にはよいところがありますか(小学校)</p> 	<p>○自分にはよいところがありますか(中学校)</p> 
<p>「将来の夢や目標を持っていますか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合を令和2年度末に小学校 85.0%、中学校 71.0%にする</p>	<p>○将来の夢や目標を持っていますか(小学校)</p> 	<p>○将来の夢や目標を持っていますか(中学校)</p> 
<p>「インクルーシブ教育システムの充実と推進を図った」とする学校の割合を令和2年度末に100%にする</p>	<p>○インクルーシブ教育システムの充実と推進を図った」とする学校の割合</p> 	

自己有用感や自己肯定感の育成について、肯定的な回答をする児童生徒の割合が高まるなど、道徳教育や人権を尊重する教育の推進における成果が見られたが、一方で将来への夢や目標に対して肯定的な回答をする児童生徒の割合については大きな改善が見られていない。引き続き、社会的・職業的自立に向け、子どもの発達段階に応じて、キャリア発達に関わる「人間関係形成能力・社会形成能力」をはじめとする諸能力を育てるためにキャリア教育を引き続き進めるとともに、道徳教育との関連を図りながら、自己実現を図ろうとする態度を育成するための取組を推進していく必要がある。

インクルーシブ教育システムの充実と推進については、研修等を通じた発達障がいを含む障がいへの理解の高まり、特別支援教育サポーターやインクルーシブ教育推進スタッフの配置、巡回相談体制の強化などの取組が進むなど、進捗状況は順調である。

施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

目標	進捗状況
<p>「PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか」に対して肯定的に回答する学校の割合を令和2年度末に全国平均以上にする</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="635 371 970 600"> <p>●PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか (小学校)</p> </div> <div data-bbox="1046 371 1382 600"> <p>●PTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか (中学校)</p> </div> </div>
<p>「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童生徒の割合を令和2年度末に全国平均以上にする</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="635 629 970 857"> <p>○「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合</p> </div> <div data-bbox="1046 629 1382 857"> <p>○「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する生徒の割合</p> </div> </div>

すべての学校園に設置している学校協議会において、運営に関する計画の策定などに保護者や地域住民など学校関係者の意向を反映するなど、学校協議会を通して、保護者や地域住民等の学校運営への参画が進んでいる。また、中学校区における「学校元気アップ地域本部」事業や小学校区における「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業を中心に、各校の取組に対する支援の充実が図られている。しかしながら、中学校においてはPTAや地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれているかに対する肯定的な回答が全国とともに低下しており、その動向は注視していく必要がある。

生涯学習については、区役所と連携し、地域におけるニーズや課題などの情報収集に努め、より地域の実情に応じた支援を進めている。しかしながら、生涯学習推進員の担い手不足や高齢化、参加者の固定化など、取組を今後につなげていくための新たな人材の育成に向けた支援も必要となっている。

施策4 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上

目標	進捗状況
<p>就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合を令和2年度末に80%にする</p>	<div data-bbox="635 1563 970 1792"> <p>○就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合</p> </div>

幼児教育の質の向上に向けた、就学前教育カリキュラムの周知と活用の推進などにより、「知・徳・体」の育ちについて、保護者からの肯定的回答の割合が高いなど、取組の成果が見られている。国の第3期教育振興基本計画（以降、第3期計画）にも示されているように、近年、幼児期の教育がその後の学力や運動の運動能力に与える影響、大人になってからの生活への影響に関する研究が進展しており、

すべての子どもが健やかに成長できるよう、幼児期から質の高い教育を提供することの重要性が高まっている。大阪市保育・幼児教育センターとの連携をさらに深めていくとともに、民間就学前施設に対しても就学前教育カリキュラムの普及及び活用に向けた取組を広く発信していく。

施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組

目標	進捗状況																																										
<p>全国学力・学習状況調査の知識に関する問題の正答数が全国平均の7割に満たない児童生徒の割合を令和2年度末に小学校国語 15.0%、算数 14.0%、中学校国語 9.5%、数学 22.0%にする</p>	<p>○知識に関する問題の正答数が全国平均の7割に満たない児童の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>国語A (%)</th> <th>算数A (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>22.0</td><td>15.1</td></tr> <tr><td>H26</td><td>18.8</td><td>16.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>19.8</td><td>18.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>19.3</td><td>17.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>20.2</td><td>14.7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>27.3</td><td>19.0</td></tr> </tbody> </table> <p>○知識に関する問題の正答数が全国平均の7割に満たない生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>国語A (%)</th> <th>数学A (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>28.5</td><td>17.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>28.8</td><td>14.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>26.3</td><td>14.9</td></tr> <tr><td>H28</td><td>25.8</td><td>13.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>27.2</td><td>15.7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>24.7</td><td>11.4</td></tr> </tbody> </table>	学年	国語A (%)	算数A (%)	H25	22.0	15.1	H26	18.8	16.8	H27	19.8	18.5	H28	19.3	17.2	H29	20.2	14.7	H30	27.3	19.0	学年	国語A (%)	数学A (%)	H25	28.5	17.2	H26	28.8	14.1	H27	26.3	14.9	H28	25.8	13.5	H29	27.2	15.7	H30	24.7	11.4
学年	国語A (%)	算数A (%)																																									
H25	22.0	15.1																																									
H26	18.8	16.8																																									
H27	19.8	18.5																																									
H28	19.3	17.2																																									
H29	20.2	14.7																																									
H30	27.3	19.0																																									
学年	国語A (%)	数学A (%)																																									
H25	28.5	17.2																																									
H26	28.8	14.1																																									
H27	26.3	14.9																																									
H28	25.8	13.5																																									
H29	27.2	15.7																																									
H30	24.7	11.4																																									
<p>全国学力・学習状況調査の活用に関する問題の正答数が全国平均を2割以上上回る児童生徒の割合を令和2年度末に小学校国語 40.0%、算数 33.0%、中学校国語 28.0%、数学 38.0%にする</p>	<p>○活用に関する問題の正答数が全国平均を2割以上上回る児童の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>国語B (%)</th> <th>算数B (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>40.3</td><td>30.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>34.0</td><td>29.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td>27.0</td><td>26.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>37.7</td><td>29.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>24.7</td><td>25.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>30.5</td><td>25.6</td></tr> </tbody> </table> <p>○活用に関する問題の正答数が全国平均を2割以上上回る生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>国語B (%)</th> <th>数学B (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H25</td><td>34.6</td><td>23.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>35.8</td><td>30.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>35.4</td><td>18.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>35.5</td><td>24.9</td></tr> <tr><td>H29</td><td>36.1</td><td>34.7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>37.5</td><td>31.7</td></tr> </tbody> </table>	学年	国語B (%)	算数B (%)	H25	40.3	30.2	H26	34.0	29.9	H27	27.0	26.6	H28	37.7	29.4	H29	24.7	25.6	H30	30.5	25.6	学年	国語B (%)	数学B (%)	H25	34.6	23.9	H26	35.8	30.8	H27	35.4	18.0	H28	35.5	24.9	H29	36.1	34.7	H30	37.5	31.7
学年	国語B (%)	算数B (%)																																									
H25	40.3	30.2																																									
H26	34.0	29.9																																									
H27	27.0	26.6																																									
H28	37.7	29.4																																									
H29	24.7	25.6																																									
H30	30.5	25.6																																									
学年	国語B (%)	数学B (%)																																									
H25	34.6	23.9																																									
H26	35.8	30.8																																									
H27	35.4	18.0																																									
H28	35.5	24.9																																									
H29	36.1	34.7																																									
H30	37.5	31.7																																									
<p>普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合を令和2年度末に小学校 4.0%、中学校 9.0%にする</p>	<p>○普段、学校の授業以外で全く勉強しない児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>7.0</td><td>11.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>7.0</td><td>11.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>7.5</td><td>11.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>7.7</td><td>10.7</td></tr> </tbody> </table>	学年	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	7.0	11.2	H28	7.0	11.8	H29	7.5	11.4	H30	7.7	10.7																											
学年	小学校 (%)	中学校 (%)																																									
H27	7.0	11.2																																									
H28	7.0	11.8																																									
H29	7.5	11.4																																									
H30	7.7	10.7																																									
<p>理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合を令和2年度末に小学校 70.0%、中学校 45.0%にする</p>	<p>○理科の授業で、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答する児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>64.7</td><td>38.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>68.3</td><td>41.2</td></tr> </tbody> </table>	学年	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	64.7	38.9	H30	68.3	41.2																																	
学年	小学校 (%)	中学校 (%)																																									
H27	64.7	38.9																																									
H30	68.3	41.2																																									
<p>「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を令和2年度末に小学校 66.0%、中学校 58.0%にする</p>	<p>○「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H27</td><td>60.5</td><td>50.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>61.1</td><td>52.7</td></tr> <tr><td>H29</td><td>62.7</td><td>51.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>72.3</td><td>64.0</td></tr> </tbody> </table>	学年	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	60.5	50.4	H28	61.1	52.7	H29	62.7	51.9	H30	72.3	64.0																											
学年	小学校 (%)	中学校 (%)																																									
H27	60.5	50.4																																									
H28	61.1	52.7																																									
H29	62.7	51.9																																									
H30	72.3	64.0																																									

学力や学校園に関する様々なデータを活用して、学校園ごとの課題と成果を見える化するとともに、

その特性や状況に応じた支援を重点的に行えるよう、個別の施策や事業を推進している。その結果、施策等の成果として改善傾向が見られるものもあるが、一方で全国学力・学習状況調査においては、全国平均との差が縮まってきているが、厳しい状況は継続しているなど、成果が十分に表れていないものもある。特に、小学校における全国学力・学習状況調査の知識及び活用に関する問題の正答数について、めざす目標との差が大きく、令和2年度末の目標達成に向けて厳しい状況が続いている。

引き続き、客観的・経年的に行われる検証によって見える化された学校や児童生徒の特性・状況に応じて、一律ではなく、きめ細かで多面的な支援を行っていくとともに、全小中学校に対し、指導主事が学力向上に向けた訪問指導を行い、取組や研修の支援を行うなど、教育委員会と学校とが一体となって学力向上への取組を進めていく。

施策6 国際社会において生き抜く力の育成

目標	進捗状況														
中学校卒業段階で、英検3級以上の英語力を有する生徒の割合を令和2年度末に50%にする	<p>○中学校3年生で英検3級程度以上の英語力を有する生徒の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>18.7</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>24.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>29.9</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>38.9</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>52.2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>52.8</td> </tr> </tbody> </table>	年度	割合 (%)	H25	18.7	H26	24.0	H27	29.9	H28	38.9	H29	52.2	H30	52.8
年度	割合 (%)														
H25	18.7														
H26	24.0														
H27	29.9														
H28	38.9														
H29	52.2														
H30	52.8														

中学校卒業段階で英検3級以上の英語力を有する生徒の割合は、平成28年度の38.9%から52.8%と大幅に向上した。引き続き「聞く」「話す」「読む」「書く」の育成も含めたコミュニケーション能力をバランスよくはぐくむ英語教育を推進していくとともに、第3期計画に示されている測定指標「英語力について、中学校卒業段階で5割以上の生徒がCEFRのA1レベル相当以上」の適切な測定方を検討していく必要がある。

また、学習の基盤となる資質・能力として情報活用能力が新学習指導要領に位置付けられた。この新学習指導要領では主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が重視されており、その授業改善に向けた各教科等の指導におけるICT活用の促進については、第3期計画にも示されている。これらの実現に向け、基盤となる学校のICT環境整備の推進を図っていく必要がある。

さらに、ますます増加することが見込まれる帰国・来日児童生徒に対する日本語指導の充実については、すべての子どもたちの学力・言語力を高め、多文化共生社会をめざす資質や能力をはぐくむための総合的な支援の方策を検討していく必要がある。

施策7 健康や体力を保持増進する力の育成

目標	進捗状況																																										
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を令和2年度末に小学校男子53.0点、女子56.0点、中学校男子42.0点、女子51.0点にする	<p>○運動能力8種目合計得点(小学校5年) 男女別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>52.53</td> <td>52.11</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>53.52</td> <td>52.31</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>53.50</td> <td>52.23</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>54.30</td> <td>52.61</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>54.38</td> <td>52.79</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>54.45</td> <td>52.80</td> </tr> </tbody> </table> <p>○運動能力8種目合計得点(中学校2年) 男女別</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>47.32</td> <td>40.44</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>47.51</td> <td>40.47</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>48.12</td> <td>40.62</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>49.20</td> <td>41.25</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>49.27</td> <td>41.00</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>50.14</td> <td>41.72</td> </tr> </tbody> </table>	年度	男子	女子	H25	52.53	52.11	H26	53.52	52.31	H27	53.50	52.23	H28	54.30	52.61	H29	54.38	52.79	H30	54.45	52.80	年度	男子	女子	H25	47.32	40.44	H26	47.51	40.47	H27	48.12	40.62	H28	49.20	41.25	H29	49.27	41.00	H30	50.14	41.72
年度	男子	女子																																									
H25	52.53	52.11																																									
H26	53.52	52.31																																									
H27	53.50	52.23																																									
H28	54.30	52.61																																									
H29	54.38	52.79																																									
H30	54.45	52.80																																									
年度	男子	女子																																									
H25	47.32	40.44																																									
H26	47.51	40.47																																									
H27	48.12	40.62																																									
H28	49.20	41.25																																									
H29	49.27	41.00																																									
H30	50.14	41.72																																									

<p>「食に関する指導の年間指導計画」を作成している学校の割合を令和2年度末に100%にする</p>	<table border="1"> <caption>「食に関する指導の年間指導計画」を作成している学校の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学校 (%)</th> <th>中学校 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>87.0</td> <td>68.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100</td> <td>89.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	年度	小学校 (%)	中学校 (%)	H27	87.0	68.0	H28	100	89.0	H29	100	100	H30	100	100
年度	小学校 (%)	中学校 (%)														
H27	87.0	68.0														
H28	100	89.0														
H29	100	100														
H30	100	100														

子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組については、研修等を通じて指導の改善を図るなど、体力向上の取組みの充実に努めた。さらに、経済戦略局とも連携し、オリンピック・パラリンピックムーブメント教育を通して、運動に親しむ動機づけとなるよう、関連した取組を進めた。また、区とも連携し、運動に親しむ機会の提供に取り組んだ。その結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点については、経年的に見て緩やかであるが改善傾向が見られている。しかしながら、運動習慣の定着を測る調査において、肯定的な回答をする児童生徒の割合が伸び悩むなど課題があり、教育委員会・区、さらに学校や関係団体とも連携し、運動の習慣化に向けた取組を推進していく必要がある。

施策8 施策を実現するための仕組みの推進

目標	進捗状況																																											
<p>自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたとする学校の割合を令和2年度末に75%にする</p>	<table border="1"> <caption>自校の「運営に関する計画」が目標どおり達成できたと回答する学校の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>81.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>91.0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	割合 (%)	H29	81.7	H30	91.0																																				
年度	割合 (%)																																											
H29	81.7																																											
H30	91.0																																											
<p>国語・算数（数学）の授業について、「好き」「わかる」と回答する児童生徒の割合を令和2年度末に「好き」小学校国語58.0%、算数66.0%、中学校国語60.0%、数学56.0%、「わかる」小学校国語80.0%、算数80.0%、中学校国語75.0%、数学70.0%にする</p>	<table border="1"> <caption>国語・算数が好きと回答する児童の割合(小学校)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国語 (%)</th> <th>算数 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>53.8</td> <td>61.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>55.2</td> <td>60.6</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>57.8</td> <td>62.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>55.7</td> <td>63.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>60.9</td> <td>64.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>58.0</td> <td>66.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	国語 (%)	算数 (%)	H25	53.8	61.3	H26	55.2	60.6	H27	57.8	62.7	H28	55.7	63.0	H29	60.9	64.6	H30	58.0	66.0	<table border="1"> <caption>国語・数学が好きと回答する生徒の割合(中学校)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国語 (%)</th> <th>数学 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>55.7</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>56.2</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>59.1</td> <td>52.7</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>58.7</td> <td>54.1</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>57.0</td> <td>50.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>60.0</td> <td>56.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	国語 (%)	数学 (%)	H25	55.7	49.6	H26	56.2	52.0	H27	59.1	52.7	H28	58.7	54.1	H29	57.0	50.7	H30	60.0	56.0
年度	国語 (%)	算数 (%)																																										
H25	53.8	61.3																																										
H26	55.2	60.6																																										
H27	57.8	62.7																																										
H28	55.7	63.0																																										
H29	60.9	64.6																																										
H30	58.0	66.0																																										
年度	国語 (%)	数学 (%)																																										
H25	55.7	49.6																																										
H26	56.2	52.0																																										
H27	59.1	52.7																																										
H28	58.7	54.1																																										
H29	57.0	50.7																																										
H30	60.0	56.0																																										
	<table border="1"> <caption>国語・算数の授業について、「わかる」と回答する児童の割合(小学校)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国語 (%)</th> <th>算数 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>76.4</td> <td>77.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>76.8</td> <td>76.3</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>79.0</td> <td>79.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>78.4</td> <td>78.8</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>82.0</td> <td>80.7</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>80.0</td> <td>84.1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	国語 (%)	算数 (%)	H25	76.4	77.3	H26	76.8	76.3	H27	79.0	79.0	H28	78.4	78.8	H29	82.0	80.7	H30	80.0	84.1	<table border="1"> <caption>国語・数学の授業について、「わかる」と回答する生徒の割合(中学校)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>国語 (%)</th> <th>数学 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>68.1</td> <td>65.3</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>69.2</td> <td>68.2</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>73.5</td> <td>68.5</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>72.3</td> <td>69.4</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>73.0</td> <td>67.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>80.9</td> <td>70.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	国語 (%)	数学 (%)	H25	68.1	65.3	H26	69.2	68.2	H27	73.5	68.5	H28	72.3	69.4	H29	73.0	67.0	H30	80.9	70.6
年度	国語 (%)	算数 (%)																																										
H25	76.4	77.3																																										
H26	76.8	76.3																																										
H27	79.0	79.0																																										
H28	78.4	78.8																																										
H29	82.0	80.7																																										
H30	80.0	84.1																																										
年度	国語 (%)	数学 (%)																																										
H25	68.1	65.3																																										
H26	69.2	68.2																																										
H27	73.5	68.5																																										
H28	72.3	69.4																																										
H29	73.0	67.0																																										
H30	80.9	70.6																																										

校園長によるマネジメントの強化については、校長経営戦略支援予算等の制度を運用し、校園長がリーダーシップを発揮し、独自の創意ある教育実践の取組が進められている。また、分権型教育行政の推進により、各区による、学校の状況に応じた支援も進んでいる。

校務負担を軽減するための環境整備については、ICTの活用による校務の効率化が進み、システム導入前にと比べ、教職員が児童生徒と向き合う時間が増加している。また、調査・照会文書数の削減や

各校への電話自動応答装置の設置など、校務負担を軽減するための取組が進められている。しかしながら、改善はしているものの、教職員の長時間勤務の状況の解消には至っておらず、引き続き取組を推進していく必要がある。

教員の指導力向上については、メンターの活用を通して組織的な若手教員の育成に取り組むとともに、教員相互の学び合いにつながる校内研修が実施されるよう、退職校長の派遣や研修の実施等の支援を進めている。

今後は、第3期計画にも示されているように、新たな時代の教育に対応できる質高い教員の確保・資質の向上を図るため、教職生活の全体を通じて学び続ける教員を支援するための養成・採用・研修の一体的な改革を着実に進める必要がある。そのために、大学と連携・協働した取組を推進し、教員養成および採用後の段階において、次世代を担う教員・管理職の育成と資質の向上を図っていく。

(まとめ)

中間評価を行った結果、進捗状況に課題のある施策については、取組内容の修正、変更、追加を行っていくとともに、順調に進捗している施策についても、設定目標の変更など、必要な修正を行う。

また、平成30年6月に閣議決定された第3期計画や新学習指導要領の実施など、今後の教育の方向性を踏まえ、取り組むべき施策の修正も行っていく。

さらに、子どもたちが、グローバル化が進む国際社会において、未来を切り拓き、生き抜く力を身に付けるためには、学校教育の充実が不可欠である。そのためには、それぞれの学校園がその実情に応じた取組を推進していくとともに、教員一人ひとりがその持てる能力を発揮できるように支援していくことが必要である。

教育委員会では、その支援・成果を上げるために、緊張感をもって、学校と一体となって取り組むとともに、学校教育の質の向上を図り、教員など、教育を支える力を育成する観点から、各々の施策・事業を再構築し、教育への投資の効果を最大化するための環境整備を行っていく必要がある。

今後も、大阪市教育振興基本計画に掲げられている2つの最重要目標の達成に向け、引き続き、学校支援の施策や事業を推進していく。